



一般社団法人日中化粧品国際交流協会 Japan-China Cosmetic Exchange Association  
 〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2 神戸国際ビジネスセンター TEL :81-78-381-5304 FAX :81-78-303-3077  
<http://www.cosmo-jc.org>

2018年1月24日～26日、幕張メッセにて第6回化粧品国際展が開催され、首都圏は20数年ぶりの極寒に襲われた悪天候にも関わらず、多数の日本及び海外の化粧品関連企業が一同に集まった。



当日、会場の中でもひと際目を引くブースがあった。それは協会の中国会員の雲南白薬健康産品有限公司(以下「雲南白薬社」)のブースである。雲南白薬社は中国の最大手製薬メーカーの一つで、本部は雲南省に位置している。そもそも「雲南白薬」とは止血作用のある漢方薬のことである。「雲南白薬」の成分を配合した歯磨き粉は雲南白薬社の代表商品で、2017年のデータによると、中国全土の歯磨き粉の市場シェア第2位、ECの市場シェア第1位を獲得した。

### 雲南白薬社の展示ブース

そんな雲南白薬社は日本における初めての展示会として化粧品展に臨んだ。その目玉商品は雲南白薬社のフェイスマスク「采之汲(さいのくみ)」の最新シリーズである。このフェイスマスクはたった4種類の植物エキスと水のみで構成されたオーガニックコスメである。製薬メーカーならではの滅菌技術でパッケージングされたため、香料や防腐剤などの化学的成分が一切含まれていなくても2年間の使用期限がある。また植物の有効成分の分子量が500ダルトン以下になるように独特な抽出技術を用いて、肌が確実にエキスを吸収できるようにした。この2点の特徴を備えた采之汲は来場者の関心を大いに引き、メディアによる取材も受けたほどだった。「中国では認知率100%という雲南白薬社のブランド力は中国の来場者をまず呼び寄せることは間違いないとわかっていたが、商品自体の魅力に引き寄せられて、大勢の日本及び海外の訪問者を引き寄せられたことに大きな手ごたえを感じている」と雲南白薬社の健康産品部マネージャー聶京(ジョウケイ)氏は語る。今回の出展で将来性を見出したため来年の化粧品展への出展も決まったのである。



采之汲(さいのくみ)フェイスマスク



著名美容雑誌 bea's up より取材を受ける



展示会の様子

中国での知名度100%でも日本における認知率はほぼ0に近い雲南白薬社の今回の出展について、既に市場が飽和状態の日本化粧品市場が相手では来場者の関心を引くことができるかどうかは当初心配されていた。しかし、魅力的な特徴がある商品を展示することは国籍に関係なく見る者の心を魅了し、そこから将来への道が開かれることがわかった。まずは恐れることをせずに第一歩を踏み出すことが大事であると雲南白薬社は行動をもって教えてくれた。これを受けて、協会より雲南白薬社に「日本最注目の海外漢方コスメ」賞を授与することを決定した。今後は型にはまった方法ではなく、常に新しいことにチャレンジすることが成功への近道なのかもしれない。